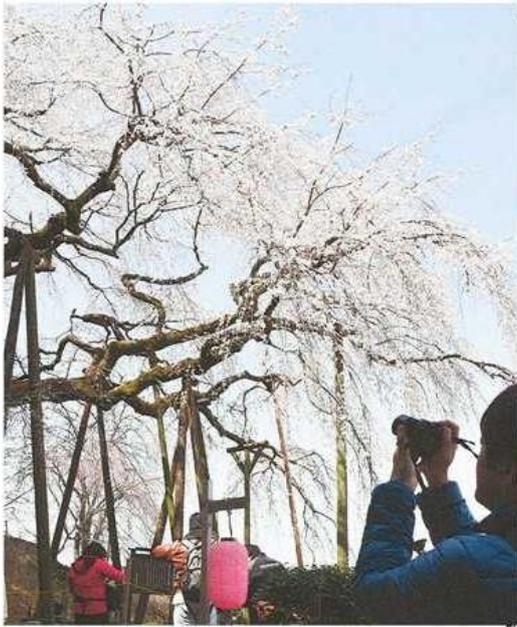


対象	中学校 3 学年以上
教科	国語科・社会科 他
該当 単元	<p>国語 中学 3 年</p> <p>「いにしえの心と 語らう」</p> <p>・ 君待つと (万葉・古今・新古今)</p> <p>社会 中学歴史</p> <p>「日本列島の誕生 と大陸との交流」</p> <p>・ 大化の改新</p>
教科書	光村図書・東京書籍等
掲載日	2019. 3. 26. 朝刊 西三河総合版



垂れる枝に咲き誇る「奥山田のしだれ桜」＝岡崎市奥山田町で

春 来 に け ら し 奥 山 田

持統天皇にゆかりがあるとされる岡崎市奥山田町のしだれ桜が見ごろを迎えた。週半ばまで楽しめそうだ。

しだれ桜は、高さ12.5㍍のエドヒガン。東西に20.5㍍、南北に22㍍ほど枝を広げ、薄桃色の花が咲き誇る。見物に訪れた浜松市西区の主婦袴田文枝さん(68)は「下から見ると桜が流れ落ちてくるようで見事」と笑顔で話した。

4月2日まで保存会が桜まつりを開いている。午前9時～午後5時にお茶や野菜、工芸品などを販売。休憩所もある。午後6～9時半にライトアップ。保存会の市川庄治会長(83)は「夜には桜が浮かび上がって見え、とてもきれい」と来場を呼び掛ける。

(鎌田旭昇)

持統天皇ゆかり、しだれ桜見ごろ

問1：写真の桜はどこにあるどんな桜なのか整理しましょう。

- ① 場所：()市()町
- ② 種類：()
- ③ 特徴：枝() 色() 高さ()m
- ④ ゆかりのある人：()

問2：見出しの「来にけらし」の意味として適切なのは次のどちらでしょう。

A：来たかどうかわからない B：来たらしい ()

発展①：百人一首や新古今和歌集に取り上げられた持統天皇の有名な和歌を調べましょう。

発展②：持統天皇ゆかりの桜ということから、この見出しがつけられていることに気づいたと思います。どんな工夫をしたのかまとめましょう。

○発展①の和歌が有名なので、()の部分引用して、この桜が見ごろを迎えて()が来たことを()と表現した。

【活用にあって】

文科省は古典学習に「読解し鑑賞する能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広く理解し古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる」というねらいを含ませています。古典に親しむ機会は日常生活の中では多くはないですが、目にし耳にした際にはじっくり味わってみる意識をもてるとよいと思います。

新聞の見出しは、語呂合わせやもじった表現が多々見られます。今回の記事もそこに注目して学びを広げていくと百人一首、新古今和歌集から古典に親しみ、持統天皇、藤原京、壬申の乱、大宝律令・・・と学びを広げることが可能です。NIE ならではの学習が展開できると思います。

解答例

問 1 : ①岡崎・奥山田 ②エドヒガン

③垂れ(枝垂れ)・薄桃色・12.5 ④持統天皇

問 2 : B

発展① : 春過ぎて夏来にけらし白妙の

衣ほすてふ天の香具山

(教科書によっては万葉集の中の歌として「春過ぎて夏来たるらし白たへの衣干したり天の香具山」と記載されています。)

発展② : 夏来にけらし ・ 春 ・ 春来にけらし